

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 経営組織論	その他参照	開講年次	【G】 - 【EF】 2	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	最強の組織を目指して			担当者	野呂 一郎	
授業概要	<p>【概要】 組織とは、現代において何か事を起こし、成功させるためには欠かせない考え方である。人間、一人では大きなことは成し遂げられないものなのだ。組織とは、合理的な、科学的な人間の力を最大限に発揮する原理である。しかし、同時に組織という考え方も、変化に合わせて変わっていかねば、勝てない。組織に関するあらゆる考え方を共有しながら、現代における最強の組織とはどうあるべきか、みんなで考えてみよう。この組織論はアメリカの organizational behavior (組織行動学) という学問の体系を踏襲するものだ。理論もやるが、世界最新の組織情報をふんだんに取り入れ、現代の組織について、皆さんに最新の考え方もお伝えする。AKBやEXILEの強さも組織論と無縁ではない。なお、企業事例は最新のものに置き換わる可能性がある。</p> <p>【到達目標】 組織には動かせない原則もあるが、変化に対応する柔軟性も欠かせないというものの理解。</p>					
履修条件	履修経営学関連の基礎科目(経営学概論、経営管理Ⅰ)を履修済であることが望ましい。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 マネジメント基本全集 9 経営組織(オーガニゼーション) 学文社</p> <p>【参考書】 「ナウエコノミー -新・グローバル経済とは何か-」学文社 野呂一郎</p>					
授業回数	授業内容					
1	ガイダンスー本講義のすすめ方ー					
	予習：指定資料を読んでくる		復習：現在の企業の在り方と講義の内容を対比する			
2	組織とは何か					
	予習：指定資料を熟読 / 予告企業事例を考える (計 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
3	組織論の歴史					
	予習：教科書第 1 章熟読/予告企業事例を考える (計 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
4	分業と組織 AKB と EXILE にみる現代の分業とは何か					
	予習：教科書第 2 章熟読/予告企業事例を考える (計 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
5	組織と情報					
	予習：教科書第 3 章熟読/予告企業事例精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
6	組織は戦略に従うか					
	予習：教科書第 4 章熟読/予告企業事例精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
7	事業部制とは何か					
	予習：教科書第 5 章熟読/予告企業事例を精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
8	マトリクス組織とは何か					
	予習：教科書第 6 章熟読/予告企業事例精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
9	官僚組織とは何か					
	予習：教科書第 7 章熟読/予告企業事例を精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
10	グローバリゼーションと組織					
	予習：教科書第 8 章熟読/予告企業事例精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
11	マクドナルドにみる、変化に対応する組織とは					
	予習：教科書第 9 章熟読/予告企業事例精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
12	現代における組織研究① なぜ、日本メーカーはサムソンに勝てないのか					
	予習：配布資料を熟読/予告企業事例精査 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
13	現代における組織研究② Uber は日本のタクシー業界地図を変えられるか					
	予習：配布資料を熟読/予告企業事例を考える (計 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
14	現代における組織研究③ ソフトバンクの海外 M&A の勝算を占う					
	予習：配布資料を熟読/予告企業事例を考える (計 120 分程度)			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
15	総括と学習到達度の確認テスト					
	予習：教科書のこれまでの講義に対応するページを読み直すこと			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討 (計 120 分程度)		
評価方法	受講態度、確認テスト等の結果を総合考慮して成績を評価する。(受講態度 30%・学習到達度の確認テスト 70%) 確認テストは概念を適切に理解して、自分の言葉で表現しているかを主にチェックする。					
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、確認テスト欠席など、評価不能の場合には「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】法【-】情【-】 / EF 別：法【-】法【-】経【選択必修(β)】					